

目 次

第 28 回大会特集

パネルディスカッション

現代日本の音楽的感性を大切に音楽教育を探る 1

パネリスト	北海道江別市立中央中学校	桜井 徹
	島根大学	ト田 隆嗣
	上越教育大学	茂手木 潔子
司会者	上越教育大学名誉教授	柿木 吾郎

課題研究 A 授業に〈広場の音楽〉をとりもどそう 13

企画意図、目的	愛知教育大学	村尾 忠廣
I. 広場の歌声と手づくり楽器	国立音楽大学	繁下 和雄
II. 音楽づくりと広場の音楽	高知大学	坪能 由紀子
III. 〈ステージ新内〉から〈広場の音楽〉としての〈民謡〉を見直す —— 日本伝統音楽を教育現場に定着させるための一つの提案 ——		村尾 忠廣

課題研究 B モデルディベート 25

文部省は、小学校指導要領から音楽科の共通教材を削除すべし

ディベーター	ノートルダム清心女子大学	吉永 早苗
	岡山大学	山田 潤次
	国立教育研究所	吉田 孝
	埼玉大学	八木 正一
ジャッジ	金城学院大学・全国教室ディベート連盟理事長	二杉 幸司

課題研究C 近未来、教育現場で学校吹奏楽はどう生き残るのか 28

— 今、学校吹奏楽を音楽教育の場へ、そして子どもの下へ —

コーディネーター：愛知教育大学 新山王 政 和

日本吹奏楽学会の活動状況と今後の取り組みについて

東京学芸大学 塚 田 靖

生涯学習を見据えた学校吹奏楽をめぐって

— 目標の明確化と実践化に向けて — 岡山大学 有 道 惇

学校教育の危機を象徴するスクールバンドの危機

静岡大学 北 山 敦 康

課題研究D 実践者からの提言—いま、実践と理論のつながりを問う— 41

高校生とともに音楽科教育を考える

東京都立大森高等学校 宮 下 俊 也

音楽科教育における「実践を通した理論」とは何か

— 実践と理論の関係の再考にむけて — 山形大学 丸 林 美千代

小学校の音楽教師と研究室をつなぐ

— 交流学習会の実践を通して — 福井大学 藤 川 一 芳

司会・研究討議

岐阜大学 泉 靖 彦

例 会 報 告 53

会 報 54

日本音楽教育学会編集規定 57

日本音楽教育学会研究発表応募要領 58

フロッピー・データの送付について 60

大会発表・応募論文要旨様式 61

研究発表（口述）分野分け表 62

編 集 委 員